

み の り

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

14名が農業に対する思いを堂々と発表!



5月12日(土)、農業クラブ校内意見発表会が開催されました。

全校生徒が、春休みに農業に対する思いや問題意識を意見文にま

とめ提出。この日は、代表の14名が、壇上で堂々と発表しました。テーマは、「新潟のブランド」「私の家の栽培管理について」「これからの農業」「花への想い」「農業はじめてみませんか」「ラムサール条約って?」「栽培技術による生産性向上に関わる意見」「産業時代～ロボットとどう向き合うか～」「異物混入と抱負」「まずは知ること」「1年の振り返りと今年の目標」「花を咲かせよう～地域を明るく～」「外国人観光客にもっと日本の食や伝統や郷里の魅力を堪能させる」「食文化の継承のためにできること」と多岐に渡り、生徒が様々なことに興味を持っていることが伺え、心強く感じました。

指導した先生からは、「年々内容が充実してきた」「将来を見据え、意気込みが伝わる発表が多かった」「経験に基づいた発表は説得力があった、今後も積極的に様々なことに挑戦してほしい」などの声が寄せられました。

厳正な審査の結果、以下の4名が入賞を果たしました。おめでとうございます。

《審査結果》

【最優秀賞】

前田蒼さん(1-5)

「食文化の継承のためにできること」

【優秀賞】

堀川真那さん(2-4)「農業はじめてみませんか」

森山萌瑛さん(2-1)「まずは知ること」

山岸みはるさん(3-1)「ラムサール条約って?」

小学生アグリ・スタディ・ツアーでふれあい!



【←全員で記念撮影】



【里芋苗の定植→】

5月20日(日)、第1回アグリ・スタディ・ツアー(ふれあい農園)が開催され、多くの小学生・園児と保護者の皆さんから参加していただきました。

開会式の後、まずはMy箸づくり。学校林から切り出したスギ材にカンナを掛け、世界に一つだけの箸を作りました。国産材の利用が森林を守ることにつながることを感じてほしいと願っています。

休憩後は、里芋苗の定植。雨上がりで少しぬかるんでいましたが、親子で、あるいは高校生と一緒に上手に苗を植えていました。翌日からは農業クラブの当番が「しっかり育て」と水やりをしています。

最後に、樹木や環境に関心を持ってもらいたいと、植物園をクイズをしながら散策しました。

参加者からは「My箸が上手にできたので、今日から使おうかな」「里芋の収穫が楽しみ。秋には芋煮会をしたいな」「農業に興味が出てきました」などの声をいただきました。ありがたいことです。



【5/31トライ・フューチャー総会】お兄さん、お姉さん役をしながら、一緒に楽しみました。

10月の第2回も、多くの参加をお待ちしています。

空手道部高木知香選手、北信越大会出場へ！

5月26・27日(土・日)、新潟市鳥屋野総合体育館で、県総体空手道大会が開催され、女子個人組手の部で、高木知香選手(2年3組)が3位に入賞し、見事北信越大会の出場権を得ました。

高木選手は、日頃の練習の成果が認められ、5月初めに、新潟県空手道連盟2018少年強化指定選手に選出された注目選手。惜しくもインターハイ切符(上位2名)は逃したものの、その実力と人間性は折り紙付き。健闘を心から称えます。

北信越大会でも実力をさらに磨き、来年度にはIHの夢を実現してほしいと願っています。



意義深い部活動に積極的に参加しよう！

県総体の前半戦が終わり、3年生が部活動から引退する時期になりました。3年間を振り返って、どのような感想を持っているでしょうか。

顧問からは、「当初掲げたベスト〇〇の目標は達成できなかったけれど、生徒はよく頑張った。心身を鍛え、良き友を得るとい部活動の目的は十分達成した」「最後まで継続した生徒を褒めてあげたい」という声が聞こえてきます。

運動部活動の加入率は前年より高まったとはいえ、「もっと部員がいたら充実した練習ができるのに」という部活もあります。現在部活動に加入していない生徒の皆さん。部活動の意義を再認識して、あらためて部活動に参加してみませんか。きっと充実した高校生活につながると思います。

また、国・県の部活動ガイドラインを踏まえて、本校の「部活動に係る活動方針」を定めました(後日学校HPに掲載予定)。部活動と勉強等と両立が図れるように、学校全体で取り組みます。

《ちょっと良い話を紹介します》

スポーツが与える三つの宝(元慶應義塾塾長、小泉信三氏『練習は不可能を可能にする』より)

- ① **練習の体験**。練習によって不可能を可能にするという体験は、人生において大切な宝物。
- ② **フェアプレーの精神**。卑怯なことはするな。果敢なる闘士であって、潔い敗者であれ。
- ③ **友**。喜びを分かち、苦しみを分かち合った友は、生涯において最も大切な友、宝物となる。

生命情報コース1・2年生、地域連携で学び深める！



生命情報コースが、地域と連携した取組で学びを深めています。

5月24日(木)、1年生25名が「総合実習」の一環で、旧下田村のヒメサグリ群生地を訪問。保存活動に取り組む方から、「周辺の雑木を伐採することで、ヒメサグリが育つ環境が保たれている」などの話を伺い、環境保護の大切さを学びました。また、2年生の5名は、「課題研究」で自らヒメサグリの保護についてテーマを設定。まずは、ヒメサグリの特徴や栽培方法をまとめた手作りのパンフレットを作成し、「ヒメサグリ祭り」の来場者に配付していました。

自立型地域リーダーの育成を目指し、今後とも地域と連携した取組を進めていきたいものです。

新潟会館とコラボしたケーキ・フェア大盛況！



5月27日(日)、新潟会館と本校がコラボしたケーキ・フェアが開催されました。

会場には、パスタ、サラダ、ケーキとともに、食品製造コース手作りのマドレーヌ、ビスケット、動物コース提供新鮮玉子を使ったプリンが並び、186名のお客様から「味噌マドレーヌが深い味わい」「プリンが超美味しい」など、好評をいただきました。

貴重な機会をありがとうございました。

第58回卒業生同期会の大先輩が本校訪問！



5月29日(火)、第58回卒業生同期会の大先輩方約20名が、本校を訪問されました。

校長による学校概況説明の後、お宝いっぱい校史資料室(写真)を見学。懐かしい品々に青春時代を思い出されていたようです。また、昭和12年に設立された県林務課の青海同窓会の趣意書の寄贈を受け、同窓生のアツイ思いを再認識。

歴史と伝統を大切にとあらためて感じます。